



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

# 学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp  
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から  
令和4年9月7日 No. 14

## 由利本荘市総合防災訓練

由利本荘市相互防災訓練が9月3日（土）に行われました。

8時10分に、北由利断層を震源とする大地震が発生し、大内地域は最大震度6弱の揺れが観測されたという想定のもとの訓練でした。大内小で行われたシェイクアウト訓練、建物火災防ぎょ訓練の様子を紹介します。



地震発生 of 8時10分、非常ベルとともにシェイクアウト訓練開始。机の下に身を隠し真剣に参加した子どもたちです。校庭への避難指示放送後、素早く整然と廊下に並び、避難行動を取ることができました。避難完了までかかった時間は、5月の避難訓練から30秒も早かったのです。今年度2回目ということもありますが、避難への心構えが高まっていると感心した一コマでした。



次は、建物火災防ぎょ訓練（消火訓練と救助訓練）の様子を見学。玄関前で発煙筒に火が付けられ、「大内小が火事だー。」の火事ぶれを合図に、消防署への通報（実際に119番へ通報しています）。サイレンを鳴らして消防車が到着。その後の実際に校舎の壁への放水しての消火訓練が行われました。消防署や消防団の方々、消火の

ためががんばっている様子をしっかりと体験することができました。



続いて校舎屋上に3人の方が取り残されたという設定で、防災ヘリ「なまはげ」による救助訓練が行われました。防災ヘリが近づくと風圧でグラウンドに土埃。防災ヘリは、屋上上空でホバリング。二人の隊員がロープに吊り下げられながら上空から降り立ちました。手際よく、要救助者をロープでつり上げていく様子にみんなドキドキしながら見守り、救助が完了すると、自然と拍手が沸き起こりました。



要救助者のうちの一人は、はしご車によって救助されます。その様子も見学することができました。はしご車のアームが4階（屋上）の窓から、はしご車のバスケットに移され、アームが地面に到着し安全に救助された様子に、ここでも自然と拍手が沸き起こっていました。



自衛隊による防災講話では、防災について学ぶことができました。防災について「自助、公助、共助のうち自分の命を自分で守る『自助』が何よりも大切」ということや、災害時の自衛隊の活動なども教えていただきました。

お話を聞いた後の質問コーナーでは、たくさんの子どもたちが質問する姿に、自衛隊の方はもち

ろん、市の担当の方も感心しておりました。

感想発表の際には、自衛隊の制服を試着をさせていただき、制服を着て感想発表をしました。講話を聞いて学んだことを堂々と述べる姿は、さすが「大内っ子」でした。講話終了後も、質問に答えてくれたり、制服を試着させてくださったり、学びの多い時間となりました。

## 防災訓練振り返り

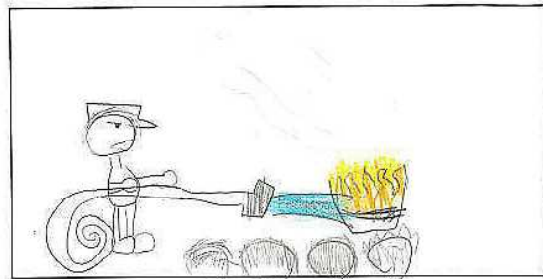
学びの多かった市総合防災訓練でした。訓練終了後に各学級で振り返りを行いました。みんな訓練で学んだことについて振り返ることができていました。

いつ起こるか分からないのが、災害です。今回は大地震の避難について、地震後の火災発生時の消火、救助についての訓練でした。「〇〇が起きたら、どうする。どこへ避難する」など、「我が家の防災について」話題にしていただけたらと思います。

<1年 きくち 〇〇〇 さん>

まへりコフターをはいかてろかくて  
みかよ  
きくちきくちいめてへりコフターを  
ちかくてみました。  
ロープみたいなものをてらとをたすけ  
てました。  
かっこよかったです。  
なんたかつとつとつとつとつとつ  
なるほどとつとつとつとつとつとつ  
あのかつどうで、いのちがすくわれているんだね。

<2年 すずき 〇〇〇 さん>



九月 三日 土曜日 名前

きょう、しょう火くんれんを見ました。見たおかげで、本当に火いがか  
おきたときに、どうやってにげさせ  
ばいいのかが、分かりました。  
きょう、しょうくんれんも見れま  
した。ロープで人をたすけるの  
が分かりました。ほくもしょうぼう  
たんになってみたいです。  
もしものときに、どう行どうすればいいか分かりましたね。

<3年 小笠原 ○○ さん>

ひなんくんれんの感想

名前 ( )

じえり  
たりの人

ぼくは今日大切だと思  
たことは自力です。理由は、自  
分の命は自分でまもるがほしく中  
では一番心にのこったからです。  
ほかにも、じえりたりの仕事か  
たくさんあるのもしれてとてもよか  
だなと思いました。

ひなんくんれんの人たちは みんなが  
いっしょにがんばって

<4年 土井 ○○ さん>

防  
火  
火  
り  
コ  
ン  
ク  
の  
見  
直  
し  
を  
せ  
ひ  
せ  
て  
お  
ま  
し  
や  
う  
!!

ひなん訓練と火災訓練見学

わたしは、ひなん訓練をしてきて、た  
ことがありますが、それは防火コングのこと  
です。なぜかというところは、まだ火に水い  
か入らないのとお母さんや、お父さんに  
言くと防火コングの中にいろいろとあること  
たいと思えました。

わたしは、火災訓練を見学をきてみて  
に、このことがありますが、それは防火ヘリと  
はしこ車のまわりと訓練です。なぜかとい  
と、防火ヘリは、地上からまわりとまわして  
しこ車は、地上からまわりとまわしては  
心のことです。

今日のこととは人生で一回しかたれりけんごさな  
いことだと思えました。

<5年 富山 ○○○ さん>

九月三日 火曜

今日私が訓練して思った  
ことは自衛隊や消防士さん  
という仕事はすごく何が  
すごいかわからない自分の命も  
大事にして相手も大事にする  
事はだれにでもできるわけ  
ではなからでも、でもそんな  
に重労働してもがんばるかん  
これにはできません。でも生  
に残る訓練でした。

人を助けるという責任の重さを、おどろかすたね。

<6年 小笠原 ○ さん>

夢に向かって ~自衛隊の方のお話を聞いて~  
ふり返しカード

○ 6 年 名前 ( )

めあて 人を助けたりするときに、こわいと思うことはあるのか。  
じえりたいので運転したりする人は、決ま、ているのか。

ふり返し 自衛隊の方のお話を聞いて、自衛隊の中でも色々なこと  
をする人がいるということから、最初のみん訓練は、  
なるべく早くふりかかすようにする、と決めてきました。火災訓練  
を見たときは、ヘリコプターなどに乗、(助けたり人を助けようとして  
ほしいと思えた。自衛隊のお話を聞いては、自力、自助、公助の  
自力、自助の自分の命は、自分で守る、や家のとなりの人などの人と  
協力して助けたりすること。もし災害があったときは、できるだけ  
したいと思えました。また、自衛隊の方は、災害があったときに  
いかに助けたりするかわからないと思、たけれど、航空自衛隊、  
陸上自衛隊、海上自衛隊の人がいて、自衛隊の人がい、ま、い  
る人を助けられるという感じが、とてもいいと思、えました。話を聞いて、ま  
ずは、自分の命を守り、安全にいられるように生活のま、でおん  
たいた、自衛隊の方々に直接質問する機会が、これだけ、貴重に思、えました。